

令和7年12月議会 報告

後援会各位

令和7年12月議会の一般質問の傍聴に、30名以上の方々においでいただき感謝申し上げます。

今後とも、「聴きます。行動します。実践します。」で活動を行ってまいります。よろしくお願いします。



一般質問を行いました。その内容を抜粋してお知らせいたします。

農林業振興をどのように進めていくのか？

町勢要覧から抜粋

質問 (村山) : 全国で基幹的農業従事者が、5年前の調査と比べ25%減少し、熊本県では24%減ったと報道があった。町内の農家数は、平成12年は1,100戸から15年後の平成27年で652戸と半減している。経営耕地面積は10%減少した。林野面積も減少している。これからの農林業をどのようにするのか？ 農林業関係者の声をどのように聞いていくのか？ 林業振興のために森林環境譲与税を活用するのか？



町答 答: 大津町は、農業、工業、商業が相互に支え合う農工商併進によって発展してきた。農林業従事者数や総農家数は減少傾向は続くが、経営耕地の面積や乳牛などの頭数はおおむね維持ないし拡大している。農林業振興の取組を継続し短期・中期・長期で整理し、5年後、10年後、さらにその先の姿を見据え着実に進めていく。林業も生産基盤の整備や適切な森林管理を進める。森林環境譲与税は間伐や基盤整備に加え、担い手の育成や管理体制などに活用したい。今後も町民懇談会や農業団体の生の意見も聞いていきたい。

提案 (村山) : トップセールスは大切。直接農家や農林業の団体の声は非常に大切。直接、声を聞いていただきたい。

【矢護川の圃場整備状況】 令和8年1月4日 撮影



水路整備



面工事



面工事

町の道路整備をどうするのか？

質問（村山）：町道本田技研南通線（フラワーライン）の桜の木が、倒木の可能性があり伐採が行われている。町民からは「桜のトンネルはどうなるのか？」「桜の木は植えないのか？」の声や「明るくなって見晴らしが良くなった。」との声を聞く。また、イオン大津店の北側の町道駅南2号線にも桜が植えられている。桜やつつじなどの道路植栽の維持管理をどのように行っていくのか？ 町として、道路を整備するうえで、その道路や路線の方針が必要ではないか？

町答弁：本町が管理する町道 482 路線、総延長約 262 k m。通勤通学や物流、生活道路など重要な役割を担っている。道路整備とあわせて、安全性と景観の両面に配慮した維持管理を行っている。道路は安全第一を大前提とし、新たに整備する道路への植栽は必要最小限にとどめ、駅周辺や町の玄関口など、景観上の役割が大きい道路は、植栽を維持活用する景観シンボルの重点区間と位置づけ、メリハリのある対応を行っていく。フラワーラインの桜並木や町道駅南2号線の植栽は、大津町を象徴する景観として、その魅力を可能な限り引き継いでいきたい。

【町道本田技研南通線（フラワーライン）】



（伐採後：令和7年12月3日の状況）



（桜の開花時：平成30年3月30日の状況）

【町道駅南2号線：イオン大津店の北側道路】



（令和7年12月3日撮影）

総務常任委員会の現地調査（メガソーラー）



（ジェイバリュウ信託：山佐）（大津ソーラー：レノバ）

村山龍一後援会会長 今村達也
お問い合わせ先 村山龍一 後援会事務所
☎ 090-1340-7892

後援会事務連絡